

令和 6 年度におい・かおり環境協会賞の表彰者について

公益社団法人 におい・かおり環境協会
表彰委員長 藤倉まなみ

本年度の表彰者は、運営検討会議、編集委員会、技術賞選考部会及び文化賞選考部会から推薦された方について、表彰委員会で審議のうえ候補者を選定し、理事会の了承を得て、以下の方々に決定いたしました。

功労賞

50歳以上であって、本協会の発展に貢献もしくはにおい・かおりに関する分野において特に優れた功績を認められた個人に贈呈する。

高橋 通正 氏（におい・かおり環境協会 技術顧問）

〔受賞理由〕

高橋通正氏は、昭和49年4月～平成28年3月に神奈川県（大気保全課、環境科学センター等）に在籍され、地方公共団体の立場で、臭気指数の測定オペレーターから苦情対策の指導まで幅広い実務経験を有している。

特に、平成7年の臭気指数規制導入に先立ち、平成5年度・平成6年度の環境庁から本協会への委託業務「悪臭防止対策検討調査」の検討委員として嗅覚測定法の照合試験などを実施し、嗅覚測定法マニュアルの作成に協力された。その後排水の嗅覚測定法の原案の作成など、環境省委託業務に係る検討委員として、現在に至るまで協会事業にご協力いただいている。

退職後も平成30年より当協会の技術顧問に就任されており、主として試験委員会の事務局及び国や自治体からの委託事業の実施など、技術的な面から助言や指導をされてきている。

学術賞

におい・かおりに関する一連の論文、著作等、学術的研究成果が特に優れた個人に贈呈する。

森長 久豊 氏（山梨大学大学院 総合研究部 教育学域 人間科学系 教授）

〔受賞理由〕

森長久豊氏は、これまでに機能性ポリマーの研究を通してかおり成分の新たな活用方法の開発研究を実施されてきた。研究成果としては、柑橘類精油由来成分を用いた機能性ポリマーの合成やワイン搾りかす由来リグノセルロースナノファイバーを用いた柑橘類精油由来ネットワークポリマーの強化などがある。その中でも、特に昨年におい・かおり環境学会誌に報告された、かおり放出の制御を可能とするポリマーに関する研究報告は非常に興味深いものであり、当におい・かおり環境協会でも今後の研究に注目していきたい分野である。

技術賞

におい・かおりに関する調査、分析又はにおい対策技術、かおり活用技術等に関して顕著な貢献があったと認められた個人、法人、団体・グループに贈呈する。

アルファ・モス・ジャパン株式会社

〔受賞理由〕

アルファ・モス・ジャパン株式会社は、においと味の分析に関して多様な技術を有している。におい分析に関しては高速ガスクロマトグラフ、におい嗅ぎ GC などの成分分析機器の他、においのプロファイリングを可能とする GC 技術、におい物質に関するデータベースなど、独創的なにおい評価技術をハード、ソフト両面から提供している。これらの技術に基づいた一連の製品群は、におい分野の研究開発やにおい評価を必要とする生産現場などで幅広く利用されており、その成果が多くの学術論文として報告されている。

さらに、におい・かおり環境学会の機器展示に 5 年連続して出展するなど、においの分析評価について法人会員としても多大な貢献をいただいている。

文化賞

良好なにおい・かおり環境の創造や、かおり文化の普及などに顕著な貢献があったと認められた個人、法人、団体・グループに贈呈する。

磐田市香りの博物館

〔受賞理由〕

磐田市香りの博物館は、1997 年 11 月に開館以来、現在まで 26 年以上、香りの歴史や文化を社会に啓蒙する役割を担ってきた。その中でも年間を通して定期的に開催される企画展は、香りに関係するアート作品を紹介するなど創意工夫を続けている。

特に、2022 年 1 月に開設された世界的にも稀有な香りの VR シアターは、香りの新たな可能性を見出すことができる常設展示となっている。

奨励賞

40 歳以下であって、におい・かおりに関する研究業績が、独創的又は萌芽的であり将来性に富むと認められた個人に贈呈する。

近藤 早紀 氏（加藤化学株式会社）

〔受賞理由〕

近藤早紀氏は、主に 3 つの分野での研究業績が認められる。

まず、においの表現語の検討については、従来の表現に取られず、実際に学習なしにどのように感じるかを基にまとめており、分析型官能評価の方向性として今までと全く異なるアプローチであり萌芽的な研究である。

次に、におい気流の拡散挙動のシミュレーションについては、多くの分野で手掛けられてい

るが、それをにおいに適応するとともににおいセンサで検証を行っている点に新規性がある。

さらに、感覚的消臭の作用機序の検討である。作用機序については、諸説があるなかで、レセプター応答と分析型官能評価の組みあわせでそのメカニズムを探るという試みは、将来性に富むもので、今後の発展を期待したい。

グッドプラクティス賞

臭気対策の優良事例やにおい・かおりによるまちづくり事例など、具体的な実践例により社会貢献があったと認められた個人、法人、団体・グループに贈呈する。

山形商業高校 産業調査部

〔受賞理由〕

山形商業高校の産業調査部は、2019年～2021年の2年間、香りによる地域活性の研究を行ってきた。高校生による香りの研究や地域活性は全国的にも珍しく、2021年には全国商業高校研究発表大会にて同研究で優秀賞(全国3位)を受賞している。山形を象徴する香りを嗅ぐことで記憶を呼び起こし、山形を思い出してほしいという願いを込め、老舗百貨店のシンボルであったバラと地元名産のサクランボをイメージした香りをブレンドした山形を象徴する香りのルームフレグランスを開発した。この開発は生徒が自ら企画し、商品化したもので、山形市の観光PRに貢献している。

永年在籍表彰

長年協会の活動を支援してこられた会員に感謝の意を表するため、通算30年以上在籍した個人会員または法人会員に贈呈する。なお、個人会員の永年在籍表彰受賞者は70歳になった年度の翌年度から会費の納入を免除される。

今年度の表彰者は、以下のとおり営利法人会員2社、個人会員2名となる。

会員区分	会員名（入会日順）
営利法人会員	東邦化研株式会社
	株式会社 日吉
個人会員	光田 恵 氏
	藤倉 まなみ 氏